

子どもと親の家庭教育講座

☆今だから聞きたい！
いのち・生(性)のはなし

好評により再講演を行います。

- ・性のこと、大事なことはわかっているけど何からどう伝えたらいいの？
- ・あかちゃんってどうやって生まれてくるの？
- ・大人になるって、とてもふあん 等々・・・

いのちや家族が生まれ育つ現場から伝えたい『いのちの話』があります。
生まれるって、生きてるってどういうことなんだろう？

・低学年向けのお話では、模型や絵本を使って、命の誕生の奇跡や不思議、心や体の守り方を分かりやすく解説します。
商品化された歪んだ性の情報が入ってきてしまう前に正しい「性」の価値観、「生」の土台を作りましょう。

・高学年向けでは、より科学的に「性」を学びます。「生」の中の「性」、より良く生きる為の「性」の話。複雑になっていく親子関係、友だち関係、恋愛、生と死、人とはどう繋がり合えば良いのか、子どもたちと一緒に考えてみませんか？

日時 3月28日(日曜日)

時間 ① 9時～10時 小学1年生～3年生対象

② 10時30分～12時 小学4年生～6年生対象

場所 昭島市役所1階市民ホール(駐車場有)

定員 各回30組

参加費 無料

対象 小学生と保護者及び家庭教育に関心のある方

お問い合わせ 子ども育成課青少年係

あいさつ運動標語

あいさつは顔見て
目を見て心見て



昭島市くらし・しごとサポートセンター

生活、家計、仕事のことなど様々な課題を抱えている方々のための相談窓口です。

新型コロナウイルス感染症の影響などにより、離職して家賃を支払うことができない、就職先が見つからない、家計が苦しいなど、一人ひとりの状況に合わせて、専門の相談員が包括的な支援を行います。

【 自立相談支援 】

生活面での不安や悩み事を抱えている方々を対象に、どのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、自立に向けた支援を行います。

【 就労支援 】

「仕事を探しているがなかなか見つからない」、「しばらく就労から離れていた」、「就労経験がない」など、就労に不安を抱えている方々に対して、ハローワークなどと連携し、就労を目指した支援を行います。

【 就労準備支援 】

「就労に対して不安を抱えている」、「コミュニケーションが苦手」など、就労に向けた活動に不安を抱えている方々に対して、生活習慣の改善や就労体験などを通じて、就労に向けた基礎能力を養うなど、就労に向けた支援や就労機会の提供を行います。

【 家計改善支援 】

家計の管理に困っている方々に対して、家計の状況を「見える化」することにより、根本的な課題を把握し、相談者が自ら家計を管理することができるよう、家計の状況に応じた支援計画を作成し、必要に応じて貸付のあっせん等を行い、早期の生活再生に向けた支援を行います。

【 住居確保給付金 】

離職や新型コロナウイルス感染症の影響により減収になったことなどにより、生活が経済的に困窮し、家賃を支払うことが困難になっている方々に対して、一定の就職にむけた活動を行うことを要件として、家賃相当額(上限額があります。)の支援を行います。また、給付金の支給には、収入基準や資産額等の要件がありますので、お問い合わせください。



電話：042-519-2033
住所：昭島市昭和町2-1-6 201A
時間：月曜から金曜 8時30分から17時15分
(祝日・年末年始を除く)

子ども家庭支援センター

アキシマエンス校舎棟

☎042-543-9046

相談事業

18歳未満のお子さんと家庭に関する相談を、電話や面談でお受けします。

相談員と一緒に解決への道を探します。お気軽にご相談ください。

(無料)

相談日時

平日の午前9時から午後7時
(受付は午後6時30分まで)

子育て支援事業

育児支援ヘルパー、ショートステイ、グループネットなどの事業を行っています。詳しくは問い合わせるかホームページをご覧ください。

東京「OSEKKAI化」計画

東京都では社会全体で子どもを虐待から守るための新しい取組として2019年4月から「東京都子供への虐待の防止等に関する条例」を施行しました。

主に

- ☆体罰や暴言などで子供を傷つけてはいけないこと。
 - ☆みんなで虐待防止を理解し協力すること。
 - ☆虐待を受けた子供とその保護者を支えること。
 - ☆虐待への対応・防止を担う人材を育成すること。
- などを規定しています。



虐待に気づいた時は
虐待対応ダイヤル

189

いちはやく

日本の言い伝え

日本の言い伝えで、良い、とされることを、「縁起がよい」悪い、とされることを、「縁起がわるい」と言います。いくつがある中でなん点が紹介します。

「トイレをキレイにすると美しくなる」

日本ではトイレには神様がいて、という言い伝えがあります。トイレをキレイにすると美人になる。妊娠をしている人は、トイレをキレイにしておくこと、かわいい子が生まれると信じられています。

「お箸とお箸で、同じ食べ物さわっては、いけない」

食べものをシェアするとき、お箸とお箸で渡し合うことは、日本ではタブーです。これは、お箸とお箸で、死んだ人の骨をつかむ風習があるため、食べものであるのは良くない、とされているからです。

日本には「お箸」のルールがたくさんあります。調べてみるのも楽しいかもしれません。

「お見舞いにいくときは古いお札を渡す」

言い伝えというより、文化のひとつとして、知人が入院したときに渡す「お見舞い」または、亡くなったときに渡す「香典」は古いお札を使います。反対に結婚式などのお祝いには、新しいお札を使います。これは、お祝いごとに対して「この日を楽しくしみに、きれいなお札を準備して待つていました」という気持ちを表すためです。不幸なできごとに対しては失礼にあたるため、古いお札を使います。